

新興国レポート

中国2020年上半期銀行貸出純増額過去最高

政府の資金繰り支援策等を背景に前年同期比25.0%増

- ▶ 2020年上半期の人民元建て銀行貸出純増額は、上半期としては過去最高の12兆900億元（約185兆円）となった。社会融資総額の増加額も20兆8,300億元（約320兆円）と過去最高を更新。
- ▶ 2020年6月の主要経済統計では、生産や投資の回復傾向が続いていることが確認された。銀行の貸出積極化や、地方政府によるインフラ投資加速のための政府債発行増等が影響している可能性も。

(1) 2020年上半期の銀行貸出純増額は過去最高

- 中国人民銀行（中央銀行）が発表した2020年上半期の人民元建て銀行貸出純増額は、前年同期比25.0%増加し、上半期としては過去最高の12兆900億元（約185兆円）となりました。銀行貸出純増額の内、家計向けは、新型コロナウイルスの感染拡大による住宅ローンニーズの低迷等が影響し、同5.2%減の3兆5,600億元（約55兆円）となりました。一方、企業（除く金融）向けは、中央銀行の金融緩和策や経済活動の正常化を急ぐ中国政府の資金繰り支援策等を背景に、同40.0%増の8兆7,700億元（約135兆円）と急増しました（図表1）。

(2) 社会融資総額の純増額も過去最高

- 同時に発表された2020年上半期の経済全体のファイナンス（資金調達）規模を示す社会融資総額の純増額は、前年同期比42.5%増加し、上半期としては過去最高の20兆8,300億元（約320兆円）となりました。上記の企業向け銀行貸出の他、地方政府のインフラ投資加速のための政府債発行の増加、低金利環境を背景とする社債発行の活発化等が社会融資総額を押し上げました。尚、社会融資総額の中のシャドーバンク^(注)向け融資（銀行引受手形、信託貸付、受託貸付の合計）の純増額は261億元（約4,000億円）と、比較的小規模な金額となりました。2018年3月の全国人民代表大会（全人代、国会に相当）がデレバレッジ（債務削減）方針を決議し、規制を強化したこと等の影響によるものと思われます（図表2）。

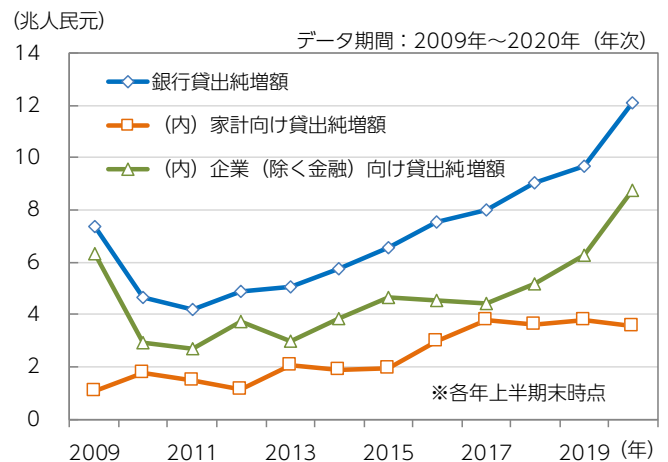
(3) 銀行貸出増等を背景に生産や投資が回復傾向

- 中国国家統計局が発表した2020年6月の主要経済統計では、生産や投資の回復傾向が続いていることが確認されました（図表3）。銀行の貸出積極化による企業の資金繰り環境の好転や、政府債発行増加によるインフラ投資加速等が影響しているものと思われます。

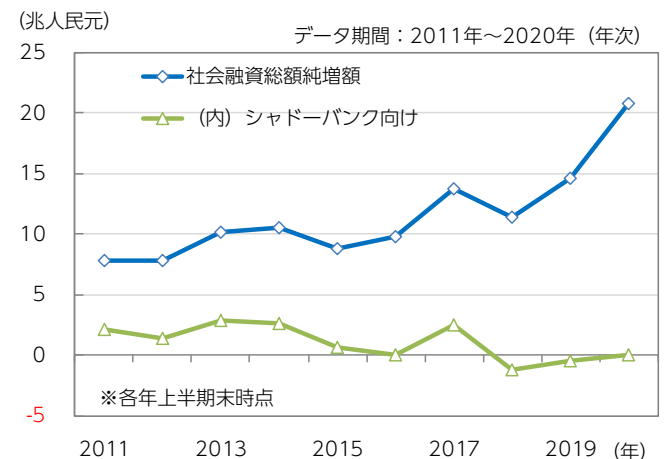
(注) 「影の銀行」とも呼ばれる。免許制などで金融当局から厳しく監督される通常の銀行ではなく、金融規制に服さない金融会社やノンバンク等の金融業態の総称をいう。

出所) 図表1～3はCEIC、ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメントが作成

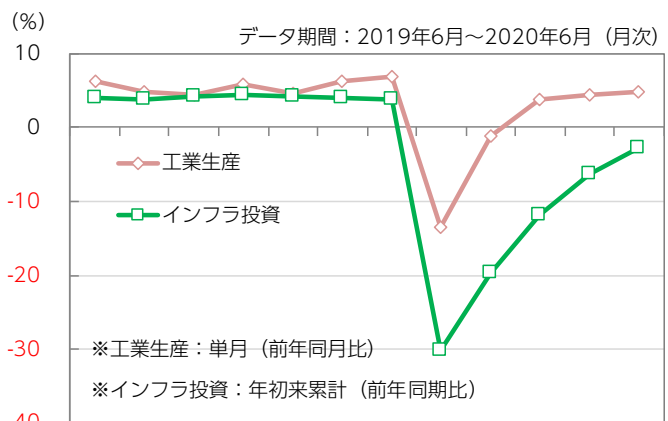
図表1：銀行貸出純増額（上半期ベース）



図表2：社会融資総額純増額（上半期ベース）



図表3：中国の工業生産とインフラ投資



【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

<設定・運用>



ニッセイアセットマネジメント株式会社

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

ニッセイアセットマネジメント株式会社

コールセンター 0120-762-506（受付時間：営業日の午前9時～午後5時）

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>